

朝ごはんでも
おなじみ!



青木のりおの

青のりレポート!

AONORI REPORT
<http://aokinorio.com>

市議会報告

5月31日、令和6年第2回川崎市議会定例会が開会し、一般会計補正予算についてなど、議案24件、報告16件の提案説明等が行われました。6月11日には自民党代表質問が行われ、「市政100周年」、「災害対策」、「子育て支援」など、多岐に渡り質問が行われました。26日間の会期を経て、6月25日に閉会致しました。代表質問の内容を一部抜粋してお届けします。



代表質問 市道宮前6号線道路改良工事について

質問 南野川橋をボックスカルバート方式で施工するにあたり、近年多発している突発的な豪雨による安全対策は?

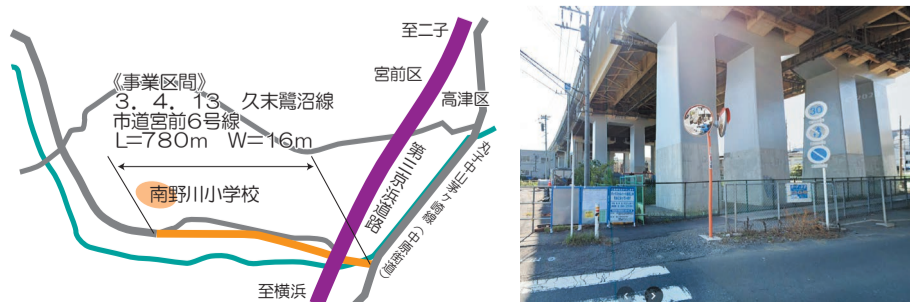
答弁 雨天時における工事中止の基準、施工時における気象情報の取得及び増水時の避難行動計画など、安全対策を記載した施工計画書について、請負契約後に事業者からの提出を求め、安全管理を徹底していく。

質問 工事中の渋滞対策は? また、久末交差点から鷺沼に右折する渋滞について、対策を求める声が多いが、見解は?

答弁 渋滞対策について、本工事では、仮設の橋や道路を整備し、交通規制を実施することなく、既存の通行を確保しながら工事を進める計画としており、工事中は交通誘導員を配置するなど、適切に対応していく。久末交差点における鷺沼方面への右折車両対策については、平成30年度に右折待ちの車両による混雑解消のため、直進する車両が通過できるよう車道幅員の確保を行っており、今後につきましても、時差式信号への改良などについて交通管理者と協議を実施していく。

質問 南野川橋から鷺沼方面にかけての当該事業区間の用地取得率と今後の見通しは?

答弁 本年3月末時点の用地取得率は約88パーセント。残る用地についても、引き続き地権者の御理解と御協力を得られるよう鋭意交渉を進めていく。



質問 関連して、主要地方道路丸子中山茅ヶ崎(野川・高津工区)の工事予定は?

答弁 本工区は、野川交差点から野川橋に向けて延長約240メートルの区間を計画幅員15メートルに拡幅整備するものである。これまでに路線測量や予備設計などを行い、交通管理者との協議を完了している。今後については、第2次川崎市道路整備プログラムに基づき、令和11年度の完成を目指して、取組を進めていく。

内容はこちら



代表質問 マイナンバーカードについて

質問 本年12月2日をもって現行の保険証は廃止されますが、本市のマイナンバーカードと保険証の紐付け状況は?

答弁 本年4月における本市国民健康保険加入者約23万2千人中、カード保有者は、約15万9千人となっており、このうち、保険証利用登録者は、約11万8千人、加入者に占める割合は、約50.9%となっている。

質問 小児医療費助成の受給者証を紐付けるシステムの改修状況と周知方法は?

答弁 小児医療などの地方単独医療費助成制度とマイナンバーカードの一体化につきましては、昨年6月に、国の医療DXの推進に関する工程表において、令和8年度以降に全国展開を予定していると示されており、現在、システムの改修について、関係部署と調整をしている。今後、医療機関や対象者への周知についても、関係機


等と調整を図りながら、適切に対応していく。


質問 未だにマイナンバーカードの受付をしていない医療機関もあるが、本市の状況は？

答弁 厚生労働省の「マイナンバーカードの健康保険証利用対応の医療機関リスト」によりますと、本年5月末時点で病院38機関中、100%、診療所1,128機関中78.9%、歯科診療所776機関中、83.4%、薬局650機関中、95.5%、合計2592機関中、84.7%となっている。

△ ご注意ください!
本年12月2日 から
現行の健康保険証は
発行されなくなります
※12月2日時点で有効な保険証は最大1年間有効です


マイナンバーカード
をご利用ください
今回お持ちでない方は次回ご持参ください



マイナンバーカードの保険証利用登録がまだの方
 ▶ 利用登録は窓口（カードリーダー）でできます 



どうやって申し込むの？
 今すぐ出来る
 簡単申し込み編



どうやって使うの？
 実践編



ご自身で健康保険証利用のための利用申込を行うことが困難な方などを対象に、支援コーナーにて利用申込の支援を実施しています。

開催場所		開催期間・時間	
川崎市役所	3階 エレベーター前	令和5年10月2日(月)～	令和7年3月31日(予定)
大師支所	2階 エレベーター前	開庁日(平日)の	
田島支所	1階 住民記録担当前	午前9時～12時	午後1時～5時
幸区役所	1階 待合スペース後方	※事前予約不要	
中原区役所	4階 西側エレベーター前	持ち物	
高津区役所	5階 第7会議室隣接スペース	マイナンバーカード	カード交付時に設定した4桁の暗証番号
宮前区役所	4階 エレベーター前		
多摩区役所	1階 アトリウム階段下		
麻生区役所	4階 第3会議室		

代表質問 全国都市緑化かわさきフェアについて

質問 開催に向けての準備状況は？

答弁 現在、秋開催に向けて段階的に会場整備を行っている。例えば、コア会場の一つである富士見公園については、再編整備工事完成後に本格的な会場整備に着手することから、限られた期間の中で効率的に整備を行えるよう準備を進めている。

質問 植物調達について、進捗状況と調達内容、調達先の内訳は？

答弁 昨年10月に川崎市造園建設業協同組合などにより協議会を組織し、植物の計画的な納入、会場での施工、維持管理について取組を進めている。今月から、等々力緑地会場、生田緑地会場合わせて、約1万株の植物を納入し、植え付けを始めた。植物調達の内訳につきましては、市内生産者からパンジーピオラなど約7万株、県内生産者からジニアなど約9万株、県外などの市場等からポピーなど約22万株の調達を進めている。

質問 会場運営ボランティアの応募状況と、参加意欲を高める取組みは？

答弁 本年5月15日から、かわさきフェア公式ウェブサイト等への掲載や、区役所等へのチラシの配架による募集を実施しており、5月31日現在で、27名の方に御応募いただいている。今後、更なる周知のため、商業施設サイネージへの掲示、市民活動団体や高校大学への働きかけを行うなど、より多くの方々に応募いただけるよう、取り組んでいく。ボランティア参加意欲を高める取組としては、希望者へのボランティア証明証の発行やユニフォームなどの支給を実施するとともに、国内最大級の花と緑の祭典である「全国都市緑化フェア」を一緒に作り上げ、貴重な経験を得られるよう取り組んでいく。

質問 同事業への協賛の状況は？

答弁 本年5月31日現在、資金協賛は1億円以上、物品等協賛は5

千万円相当額以上、広告協賛は6千万円相当額以上の申し込みをいただいております。目標としていた資金協賛1億円を達成した。今後、市制100周年記念事業及びかわさきフェアの趣旨に基づき、主要駅周辺の緑化に関する取組を拡充するなど、さらなる活用を図っていく。

質問 マスコットキャラクター戦略についての考えは？

答弁 本市においては既に市民の皆さまの愛着や活用実績がある多数のキャラクターが存在していることから、かわさきフェアでは、独自のキャラクターは持たないこととした。「市民植樹運動」のイメージキャラクターである「森の妖精モリオン」につきましては、かわさきフェアへの親和性が高いことから、会期中のイベント等において積極的に活用していく。

花と緑の祭典

全国都市緑化かわさきフェア

会場
 富士見公園
 等々力緑地
 生田緑地

秋 令和6年 10月19日(土)～11月17日(日)
 春 令和7年 3月22日(土)～4月13日(日)



代表質問 災害対策について

質問 トイレカー導入について見解は？

答弁 今年1月に発生した能登半島地震において、組立が不要であり、衛生面に優れているトイレカーは、避難所等におけるトイレ環境の改善に一定の有効性があったと認識している。一方で、道路が被災した場合の運搬や避難所等へ設置後の排泄物処理などの課題、平時における活用方法や維持管理などに課題があると考えているため他都市の導入事例などを研究しつつ、本市の地域特性や潜在的リスクなどについて検討を進め、関係局と連携を図りながら総合的なトイレ対策に取り組んでまいります。

質問 図書カーの導入について見解は？

答弁 図書館は、地域防災計画において避難所補完施設等の役割があるとともに、災害の状況に応じて、被災者に可能な支援・協力を行っていく必要があると考える。避難所等への読書支援については、図書館から避難所への本の提供のほか、本市の自動車文庫の活用等も考えられるが、今後、手法等について、他都市の事例を参考に、調査研究を進めていく。



自動車文庫

質問 GPS付きのライフジャケットにより、被災者の所在を把握出来る仕組みがある。本市でも被災者の状況を把握仕組みについて検討する必要があると考えるが見解は？

答弁 今後、AIをはじめとする最先端の技術を活用した防災対策は重要度を増すものとする。大規模災害による被災者の状況把握は、救助や救命に直結する市民の生命に大きく関わる課題であることから、最新の技術や研究に目を向けながら、国や他都市の状況等

の情報収集に努めていく。

質問 マイナンバーカードの普及により、治療状況や処方箋などがオンラインで確認できるが、能登半島地震において、珠洲市はマイナンバーカード普及率85%にも関わらず、カードではなく、スマホが持ち運ばれ、機能しなかったとのこと。スマホのみでマイナンバーの機能を利用できる仕組みを国に働きかける事への見解は？

答弁 現時点では、スマートフォンで治療状況や処方箋などの確認に必要な「健康保険証」としての利用はできない状況。スマートフォン搭載の「健康保険証」の利用については、国において、来春以降、順次開始していくとされているので、この動向を注視していく。

令和6年3月改訂
スマホ用電子証明書搭載サービス
2023年5月11日よりまずはAndroidから!

？ どういうサービス？
○あなたのマイナンバーカードのICチップに格納されている署名用電子証明書を使って、あなたのスマホに、新たにスマホ用電子証明書を搭載するサービスです。
○マイナンバーカードなしで、スマホだけで、様々なサービスの利用や申込ができるようになります。

？ 何が出来るの？
○これまでマイナンバーカードの電子証明書を使わないと受けられなかったサービスが、順次、あなたのスマホだけで利用できるようになります。

こんなことがあなたのスマホだけでできちゃう!

①マイナンバーの利用
オンライン申請ができる!
子用で支運 引っ越し 確定申告 (2024年3月) 薬剤・健診情報 母子健康手帳 行政機関からのお知らせ・各種証明書

②各種民間オンラインサービスの申込・利用 (5月11日より順次対応予定) ③コンビニ交付サービスの利用 (2023年12月開始) ④健康保険証としての利用 (今後対応予定)

銀行・証券口座開設 携帯電話の契約 キャンシュレス決済申込

代表質問 川崎市国民健康保険 第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)及び第4期特定健康診査等実施計画について

質問 医療DXの取組みが進められているが、健康・医療データの活用についての見解は？

答弁 健康・医療データについては、KDBと呼ばれる国保データベースシステム等で管理する国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者のレセプト情報や健診結果データから必要な情報を抽出でき、年齢別・性別・地域別など、様々な角度からの課題分析に利用できるものと考えている。現在は、さらなるデータ活用に向けた検討を行っているほか、生活習慣病の重症化リスクが高い方への受診勧奨に活用しており、また、一部の区役所において、健診データ等から、地区の健康課題などを把握し、地域の特性に応じた取組に活用している。

KAWASAKI CITY
川崎市国民健康保険
第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)及び第4期特定健康診査等実施計画



内容はこちら

質問 特定保健指導の実施率向上に向けた取組みとリモートによる保健指導などICT活用に向けた見解と課題は？

答弁 実施向上率に向けた取組みは、今年度から、健診結果返却時に、対象者へ配付する案内文を作成するとともに、医療機関の事務手続きを簡素化した。リモートによる特定保健指導には、オンラインによる面談に不慣れな方もおり、十分に活用されていないことが課題であると認識している。今後は、対象者が医療機関での実施とリモートによる実施のどちらかを選択できるよう、利用券に同封するチラシなどで、それぞれの利用方法を丁寧に案内していく。

用語解説 特定保健指導とは

生活習慣病リスクの高い被保険者を対象とした、保健師等による保健指導

	追加リスク 1.血糖 2.脂質 3.血圧	喫煙歴	対象	
			40歳～64歳	65歳～74歳
腹囲が 男性85cm以上 女性90cm以上	2つ以上該当	あり なし	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当			
上記以外で BMIが25以上	3つ該当	あり なし	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当			
	1つ該当			

特定保健指導対象者

質問 モデル事業として実施してきた専門医と連携した重症化予防事業の成果と今後の方向性は？

答弁 専門医の指導方針に沿って委託業者が保健指導を行うものだが、令和4年度の結果では、腎機能を示す数値に顕著な改善が見られるなど、事業効果を確認している。今後については、モデル事業の委託先である川崎市医師会と、令和5年度の実施結果の評価を踏まえるとともに、連携パスの作成に時間を要していることから、実施スケジュールを調整するなど、工夫しながら事業を継続していきたい。



特定保健指導実施医療機関との情報交流会

eGFRの検査数値

eGFR (腎機能の数値) が大きく改善しました。

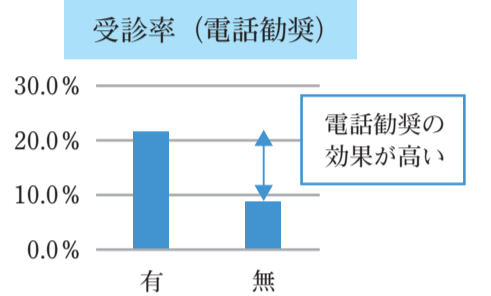
eGFR平均値 (mL/分/1.73m ²)	介入前	介入後	差
通常の生活習慣病重症化予防対象者	61.3	64.1	2.8
専門医とかかりつけ医の連携パスを利用した生活習慣病重症化予防対象者	48.3	56.2	7.9

n=7 (検査値が確認できた人数)

「高津区において専門医とかかりつけ医の連携パスを利用した保健指導を実施したところ、通常の参加者よりもeGFR(腎機能)が改善したことがわかりました。」

質問 35歳から39歳の健康診査受診率の向上も課題だが、対策は？

答弁 電話による受診勧奨の効果が認められたことから、今年度から勧奨件数を増やし、取組を強化していく。




市制100周年記念映像のご案内

多様性を可能性にして発展してきた川崎市の100年のあゆみを過去のニュース映像や写真などで振り返るとともに、川崎市の多彩な魅力をまとめた記念映像です。(約14分) 是非ご視聴ください。







令和6年第3回定例会
9月2日から10月11日まで開催されます。
議会中継はこちら ▶



青木のりお事務所 LINEアカウント始めました!
お友だち登録をお願い致します ▶
ご登録の際にはお手数ですが、お名前をフルネームでご連絡下さい



青のりレポート読んで下り
あれこれございませう。
御意見お待ちしております。
青木のり



川崎市議会議員 青木のりお事務所
〒213-0029 神奈川県川崎市高津区東野川2-29-21
TEL 044-788-8899 E-mail info@aokinorio.com

令和6年第2回川崎市議会定例会6月議会ご報告

5月31日から6月25日までの26日間の会期中、令和6年第2回川崎市議会定例会が開催されました。今議会では、議案25件、報告16件が上程されました。代表質問では、「市制100周年」、「災害対策」など43項目、についての内容、課題について質しました。各常任委員会での議論を経て、上程された議案すべてが可決成立しました。

7月1日に歴史的な節目である市制100周年を迎え、本市の人口は、本年4月に155万人を突破しました。定例会の冒頭、市長からも「人口の増加は、まちの活力の表れであることから、市制100周年を迎えるこの時期に、この節目の数字に達したことは大変喜ばしく思う」という発言とともに「今後も、選ばれるまちであり続けられるよう、暮らしやすく、魅力のあるまちづくりを進めていく」との決意が述べられました。我々、自民党川崎市議会議員団も次の100年に向け、155万市民が心一つに、私たちの川崎の空を青く晴れやかにする、「飛躍」の市制の第一歩を踏み出していくために取組んでまいります。



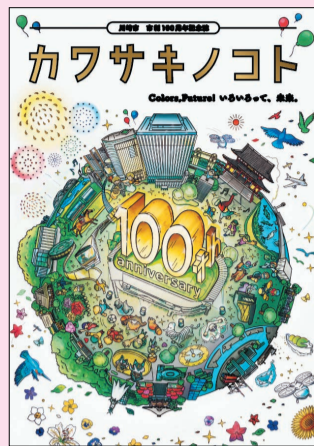
上：青木功雄 議長
下：末長 直 議員

令和6年7月1日 川崎市は市制100周年!

記念誌「カワサキノコト」



市制100周年にあたり、これまでの発展の経過を伝え、寄与されてきた多くの方々への感謝と敬意を表するとともに、これからのあたらしい川崎を生み出し、未来へつないでいくために、川崎を知って、関わって、好きになっていただくツールとして、川崎の誇る多彩な魅力を伝える記念誌を作成しました。



「Colors,Future! いろいろって、未来。」、多様性こそが川崎の発展の源泉。これまで



も多彩な「色」が重なり合うことで、様々な価値を生み出してきました。そしてこれからも、川崎に集まる多様な人たちの「好き」を掛け合わせ、あたらしい可能性が広がっていくことをまちづくりの原動力として、未来に進んでいきます。市制100周年の1年間、みんなで創り出すさまざまなイベントに足を運び、川崎で育まれてきた多彩な魅力に触れて新たな「好き」を発見し、一緒に「あたらしい川崎」を生み出していきます。



電子ブック版はこちら

令和7年度の「川崎市総合計画」改定に向けた基本的考え方が示されました。

令和7年度は、本市の具体的な取組を定める「第3期実施計画」の最終年度に当たるとともに、長期的なビジョンや方向性を示す「基本構想」、「基本計画」の策定から10年が経過します。この間、喫緊の課題であった待機児童対策や中学校完全給食の実施、地域包括ケアシステムの構築、脱炭素社会の実現に向けた取組など、めざす都市像である「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき」の実現に向け、安心のふるさとづくりと力強い産業都市づくりをバランスよく進めてきました。一方で、気候変動をはじめとした環境問題の一層の深刻化、コロナ禍を契機に急速に進展した社会のデジタル化など、本市を取り巻く環境は大きく変化しています。これまで人口増加が続き、大都市の中で最も平均年齢が若い本市においても、いよいよ超高齢社会の到来が目前に迫り、今後、急速な高齢化が見込まれます。次の100年に向けて今後も持続的な発展を続けるためには、社会経済環境の変化に迅速かつ確に対応しながら、将来を見据えた課題解決にしっかりと取り組んでいく必要があるとし、令和7年度に「川崎市総合計画」を改定することとしました。

こども誰でも通園制度試行開始



川崎市では、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な生育環境を整備するため、保護者の就労の有無に関わらず保育所等を一定時間利用できる「こども誰でも通園制度(仮称)」の試行的事業が令和6年6月17日から開始されました。



詳細はこちら

産後ケアの利用料の減免制度が拡充されました!



出産後、手伝ってくれる人がいなくて不安、授乳がうまくいかない、赤ちゃんのお世話の仕方がわからない、お産と育児の疲れから体調がよくないなど、出産後育児等の支援が必要な方を対象に、産後ケア事業を実施しています。

令和6年4月1日から利用料金の減免が始まりました。お母さん1人につき1日(回)2,500円、最大5回まで利用料金から減免されます。



詳細はこちら

HPVワクチンのキャッチアップ接種が令和6年度末で終了となります

HPVワクチンのキャッチアップ世代への無料接種(公費による接種機会を提供)については令和6年度末で終了となります。規定回数(3回)を接種するためには6か月かかりますので、令和6年9月までに初回接種を開始する必要があります。



詳細はこちら

川崎市EV用充電インフラ補助金(共同住宅向け)申請受付中!

川崎市では、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車といった次世代自動車普及促進のため、共同住宅への電気自動車等の充電設備を設置する管理組合等に対し、補助金を交付しています。

※経済産業省補助金の交付申請は令和6年9月中旬で受付が終了しますので御注意ください。



詳細はこちら

「おくやみガイドブック」がリニューアル!

これまでの「おくやみガイドブック」は、「記載内容を絞り、利用者にとって分かりやすいもの」をコンセプトとし、令和2年4月から区役所窓口で配布をしてきました。今回のリニューアルにあたっては、他都市事例や高齢化の進行を踏まえ、市民と職員双方にとってさらに活用しやすいおくやみガイドブックを目指し、区役所職員との意見交換会等を実施のうえ、従来のおくやみガイドブックから大幅にリニューアルを行いました。

なお、遺族の方の心情に配慮しつつ、手続への負担軽減による市民サービスの向上を目的とし、今年の10月より各区役所におくやみコーナーが設置される予定です。



詳細はこちら



わくわくプラザにおける配食サービスの試行実施が始まります!!

夏休みなどの長期休業期間の弁当作りの負担を減らすため、昼食を提供する取組が広がっており、子育て支援の観点からも対応が求められています。我が会派はかねてより、夏休みなどの長期学校休業中に、わくわくプラザへの昼食用のお弁当の配送について要望してまいりました。川崎市は今年度の夏休み期間における配食サービスの試行的な取組を検討中であり、その試行的な取組の結果等を踏まえ、令和7年度の全施設でのモデル実施も視野に入れながら様々な手法を検討するとしています。

横浜市は、今夏に市内全ての放課後キッズクラブ・放課後児童学童クラブ566か所で配食サービスのモデル実施を行うと発表しました。総事業費は2億3,900万円で、配送料と事務手数料を市が負担する仕組みです。配送料等を行政が負担する市町村が増えており、子育て支援の観点からも引き続き、本市に対して対応を求めています。

